



共同活動による地域の保全活動

マカヤ

真茅環境保全会（鹿児島県枕崎市）

- 枕崎市は鹿児島県の薩摩半島の南西部に位置し、まかや町は枕崎市の東部にあり、温暖な気候を活かして「お茶」や「甘藷」を中心に農業が行われている。
- 当組織は、平成29年度より取り組みを開始。農業者の高齢化、担い手不足、人口減少等が深刻な問題である。そのため、非農家を含む活動組織の構成員と定期的に農地の保全管理を実施し、地域の環境保全活動に取り組んでいる。
- また、景観形成活動として地域の景観、農道のごみ拾いを実施し地域住民との交流の強化に努めている。

【地区概要】 ※R7年度時点

- ・認定農用地面積:78.8ha
- ・資源量:水路 4.2km、農道 4.9km
- ・主な構成員:農業者、非農業者
- ・交付金:約315万円 (R7)

1

| | | |
|------------|--------------------|----------------------|
| 農地維持 支払 | 資源向上 支払 (共同) | 資源向上 支払 (長寿命化) |
|------------|--------------------|----------------------|

活動開始前の状況や課題

- 農業者の高齢化や人口減少により地域活動への参加人数減少に苦慮している。
- 過疎化による農業の担い手不足に伴い、遊休農地になりうる農用地の増加が懸念されるとともに、農道や水路等の施設の保全管理が困難な状況が増えてきた。
- 未舗装道路が多く、大雨などでぬかるみができ、通行に支障があった。



【道路草刈り】



【水路土砂上げ】

取組内容

- 年2回、非農業者も含め農道・法面等の草刈りを実施。
- 未舗装道路の一部直営施工によるコンクリート舗装を実施。
- 子供たちとの農道のごみ拾い、老友会によるコスモス畑の草取りを毎年行い、地域づくりの促進と地域住民との交流の強化。



【景観形成活動】



【農道ごみ拾い】

取組の効果

- 草払いや景観形成活動を行うことにより、日頃参加していなかった人も参加するようになり、地域住民との協力体制が整ってきている。
- 遊休農地発生防止の為、役員を中心として耕作の受け手を確保するようになった。
- 農道舗装の実施により、農地へのアクセスが向上し、作業の効率化に寄与している。



【一部直営施工による農道舗装】



【地域住民との協力体制】

きっかけ

農業者の高齢化など、遊休農地になりうる農用地の増加が懸念され、農道等の施設の保安全管理が困難な状況。



Step1

真茅環境保全会発足前

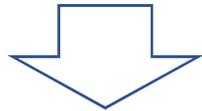
- 高齢化などにより、農業の担い手不足が年々深刻化し、農道や水路等の施設の保安全管理などの地域活動への参加者の減少が目



Step2

多面的機能支払交付金事業による活動

- 交付金の活用で活動への参加者が増え、これまで以上に様々な活動が実施できるようになり、農業者や非農業者による保全活動が活性化。



将来に向けて

- 農業者の高齢化・担い手不足、人口減少等も深刻であるが、非農業者や地域住民の協力を強化し、組織の活性化と地域交流の強化をめざす。
- 農業用施設の長寿命化を図ることによって、営農意欲の向上など、営農組織の活性化に努め、農家が営農しやすい環境づくりに努める。

今後の展望

Step4

更新後の活動

- 農業者・非農業者等と協力しながら、環境保全活動に取り組んでいる。

Step3

活動の更新

- 令和5年度で活動期間が了する際、活動の方向性について話し合いを行い、総会により事業の継続について協議を行い、事業の更新が決まった。